

## C 技能別日本語プログラム 活動・ユニット案 「私の引っ越しトランク」

### 1 対象生徒・授業(科目)

対象生徒	年齢 16歳 学年 高校1年生 滞日期間 1～2年目 日本語の力：ステップ（3以上） 母語の力：ステージ（D以上）（文科省「ことばの力のものさし」）
授業・科目名（例） （日本語Ⅱ）	クラス規模：小グループ 教科等との関連：なし 外部支援の有無：なし


### 2 プログラム概要

プログラム	C 技能別日本語プログラム 中心となる技能：話す
時間	（50）分×（2）回
活動名	私の引っ越しトランク
目指す生徒像	（主に該当するもの） （1）社会的存在として自己の目標をもち、粘り強くキャリアを切り拓く生徒
目標	（日本語教育・指導が育成を目指す資質・能力の3領域に関し、目標として具体化） （1）無人島や引っ越し先に持っていく物の名称やその選択理由を表す語彙・表現を学び、自分の考えを的確に説明することができる。（知識・技能） （2）引っ越し先の環境や引っ越し後の自分の状況を想像し、引っ越し時に持っていきたい物と理由を、根拠を示し説得性をもって伝えることができる。（思考・判断・表現力） （3）移住した者として自身を捉え直し、将来を見据えて、自己の強みや何を大切にしたいかを考えることができる。（学びに向かう力・人間性）
言語事項 （語彙・表現、文法）	談話構造：次の内容で構成 自身の状況・考え、選択した物、選択の理由と根拠 機能： 選択の理由を説明する。共感的にコメントする。 語彙・表現： ・移住に関する語彙：家族、友達との思い出、趣味、勉強、挑戦、健康、将来、慣れた食事、維持する、防ぐ、コミュニケーションをとる ・持ち物の優先順位を伝える表現： ～を優先する、～はなくてもいい、～があったほうがいい、～を持っていくべきだ ～が必要だ、不可欠だ、便利だ、役に立つ／～より～のほうが～、 絶対～、～かもしれない、 ・なぜなら～ができるから／（可能形）
主な活動	第1時 「無人島に持っていくもの」についての話し合いを通じて、引っ越しの荷物の選択とその理由を表す表現を知り、「移民のトランク」の中身について、時代背景や移民の生活を想像しながら話し合う。 第2時 自身にとって大切なもの、優先することを考えながら自分が引っ越しをする場合に何を連れていくか話し合う。
活動の工夫	・「無人島に持っていく物」を、無人島へ3つの持ち物と条件を付して活動を単純化し、語彙・表現のリストを利用すれば話し合いに参加できるようにしている。 ・生活拠点を変える場合の持ち物に関する活動を重ね、自分の考えとして、持ち物、理由を表す語彙・表現を運用する力を高められるように活動を組み立ててある。 ・「移民のトランク」の写真資料に関する話し合いを通じて、移住の歴史や当時の移民の置かれた状況を知り、日本に移住している自身を相対化して捉える機会とする。 ・日本への引っ越しと次の引っ越しをトピックに、ライフコースを意識して自身が大切にしたこと、自分の強みを意識できるように、対話を大事にする活動にした。

教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無人島の持ち物語彙・表現のリスト（スライドにしてもよい）</li> <li>・「移民のトランク」写真資料（この活動案では、JICA 横浜海外移住資料館の展示「移民の七つ道具」の写真を利用することを想定）</li> <li>・「私のトランク」ワークシート</li> </ul>
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「無人島にもっていく物」「自分が日本に来た時の持ち物」の話し合いで、物の名称や理由を表す語彙・表現を的確に利用していたか。</li> <li>・「移民トランク」等の話し合いで、移住後の環境の変化を想像し、なぜその持ち物が必要なかを移民や自身の状況に関連付け、根拠を示して説明することができたか。</li> <li>・「新たな引っ越しの際の持ち物」を選択し、その理由を検討するときに、自分の将来像をイメージしながら、自分の強みや大切にしたいことを意識できていたか。</li> </ul>
対象・実施条件による調整のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書く」力も併せて高めることが求められる生徒の場合、「移民のトランク」や「次に引っ越しの際にもっていく物」の話し合い活動の後に、作文に書く活動を行う。</li> <li>・話し合いの技能の向上が必要な生徒の場合、相手の発言を受け止める「分かります!」「そうですね」「私も同じ考えです」等を学ぶ機会にする。</li> <li>・「移民のトランク」の資料が入手できない場合は、移民のトランクについて話し合う活動を割愛して実施する。あるいは、先生方に、引っ越し経験とその時に持ってきたものについてインタビューする活動で代替する。</li> </ul>

### 3 活動展開

第1時	
活動 ○教材・教具	活動参加のための言語運用例（目標の語彙・表現等）
<p>1 「無人島に持っていくもの」について理由・根拠を示して話し合う。 ○利用する語彙・表現リスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>無人島に持っていくもの（3つ選んでください） お金、水、ナイフ、マッチ、ライター、サバイバルの本、寝袋、救急箱、テント</p> <p>&lt;表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・～をもってきます。なぜなら～</li> <li>・～ができるから／（可能形）</li> <li>・～はなくてもいいと思います／～があったほうがいいと思います。</li> </ul> </div>	<p>T: あなたはこれから無人島に行きます。このリストから3つ持っていけるものを選んでください（3つだけ）。何を持っていきますか？</p> <p>S: 水とナイフとテントを持っていきます。 なぜなら、水は命を維持するために必要だからです。ナイフは、木を切ったり魚や食料を捕ったりできるからです。無人島なので、お金はなくてもいいと思います。でも、雨と寒さを防ぐためにテントがあったほうがいいと思います。</p>
<p>2 自分が日本に引っ越してきた時に、国から持ってきたものは何だったか、紹介し合う。</p>	<p>T: あなたは日本に来るとき、何を持ってきましたか。</p> <p>S1: 私は、サッカーのユニフォームを持ってきました。なぜなら、日本でもサッカー選手になるために挑戦したいと思ったからです。</p>
<p>3 資料写真を見ながら昔、移住した人たちの持ち物について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移民した人が持っていったものは何か話し合う。</li> <li>・それを持っていった理由を、当時の状況等を想像しながら話し合う。</li> </ul>	<p>T: 移民の人は、何を持っていきましたか。</p> <p>S: 薬と服や履物。それから、本をたくさん持っていました。辞書もあります。</p> <p>T: どうして辞書を持っていったと思いますか。</p> <p>S1: 辞書は、スペイン語を勉強して、コミュニケーションをとるために持っていったと思います。</p> <p>S2: わたしも、そう思います。昔は、翻訳アプリがなかったもので、新しい言語を学ぶのは、今よりもずっと大変だったと思います。</p>

第2時	
<p>1 「移民のトランク」について何をなぜ持っていたか振り返り、語彙表現を確認する。</p> <p>2 新たな引越しの際、自分が持っていく持ち物は何かを考える。(絵を描いてもよい) ○大切な物に関する語彙リスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家族・友達との思い出・趣味・勉強・挑戦・健康・コミュニケーション・慣れた食事 優先する・維持する・防ぐ</p> </div> <p>(○絵を描くためのシート例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>私の引越しトランク</p>  </div> <p>3 グループや全体で共有する。</p>	<p>T: 移民の人は何を持っていきましたか。 S: 薬を持っていきました。なぜなら、健康を維持するために、慣れた薬がいいからです。</p> <p>T: これから新しい国に引っ越すとしたら、あなたは何を持っていきますか。 S1: 私は、絶対にスマホを持っていきます。 S2: 教科書を持っていきます。それから、タブレットを持っていったほうがいいと思います。</p> <p>T: どうしてですか?あなたにとって大切なもの/優先するものは何ですか? S1: なぜなら、スマホに友達と一緒に撮った写真がたくさん入っているからです。私にとって、友達が一番大切です。 S2: 家族も、健康も、友達も大切です。でも、一番優先するものは勉強です。将来エンジニアになりたいからです。引っ越しする国で、ないかもしれませんから、教科書を持っていきます。</p> <p>T: 新しい国に引っ越すときに持っていく物と、理由をまとめて発表してください。 S1: 最初はきっとさびしいです。だから、友達との思い出の写真を持っていきます。「私には友達がいて応援してくれる。頑張ろう」という気持ちになるからです。 S2: 将来の夢を優先します。なので、エンジニアになるために、教科書を持っていきます。これまでの勉強を続けたいと思うからです。</p>

4 教材・教具例 写真「移民のトランク」



(JICA 横浜海外移住資料館展示「移民の七つ道具」 活動・ユニット案作成者撮影)